

令和7年度 法奥小学校3年生「森林教室」について

9月26日(金)、十和田市立法奥小学校の3年生4名を対象に森林教室を実施しました。この森林教室は、法奥小学校が取り組んでいる総合的な学習の時間「みどりの学習」の一環として、毎年実施しているものです。

一昨年までは「ブナの森たんけん学習」と称し、十和田湖近くの国有林で「森の神」と呼ばれるブナの巨木を見学したり、森林で見られる生き物や森の大切さなどについて実際に自然に触れながら学んでいました。しかし昨年度から、熊の目撃が相続いたため森林での学習は中止となり、今年度も学校での実施となりました。

そうした中でも子供たちの体験を重視できるだけ自然に触れてもらいたいと考え、森林の樹木の葉を使い、葉っぱのカルタ取りゲームを行いました。子どもたちは葉の形やこまかに特徴をじっくりと観察し、たくさんの種類の中から、講師役の当署職員が示したものと同じ種類の葉を見分けていました。

また、これまで見に行っていたブナの巨木の大きさなどについて説明したあと、林業で実際に使用する器具を使用して校庭にある木の高さや太さを計測したり、巨木の幹回りと同じ長さのロープでその太さを再現するなどして「森の神」の大きさを体感しました。このほか森林の土を使った水の浸透実験や紙芝居により、親しみやすい形で森林について理解を深めてもらえるよう心掛け、授業を実施しました。

この学習を通して子供たちが森の役割について理解を深め、森林をより身近に感じてくれればと思います。



[葉っぱカルタ]



[木の高さを測る]



[ロープでブナの巨木の太さを体験]



[水の浸透実験]

担当:業務グループ ふれあい担当